

第12期

決算関係諸報告書

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

一般財団法人 **あすなる会**

# 事業報告書

令和5年4月1日から

令和6年3月31日まで

## 1) 事業の概要

### ○各種研修会

本年度は新型コロナウイルスが5類に分類され、収束に向かいつつあることから、各種研修会は感染前と同様の開催をいたしました。

#### 茶道教室

表千家教授 白鳥宗清先生による指導にて、毎週木曜日午後6時から8時まで、合計44回開きました。

#### 書道・ペン習字教室

日本ペン習字研究会師範 大野秋陽先生による指導。押上教室では第一・第三水曜日午後6時から8時まで、新橋教室では第二・第四木曜日午後6時から8時まで、合計42回開催しました。

なお、8回限定の美文字ペン習字教室を、新橋教室、押上教室、ならびに八王子営業部にて開催しました。

#### 英会話教室

外国人の先生による指導。毎週木曜日午後6時から8時まで、合計39回開催しました。

### ○スポーツ・リクリエーション

#### 第42回「スポニチ山中湖ロードレース大会」

令和5年5月27日（土）～28日（日）（於 山梨県南都留郡山中湖山中）  
12名が参加し、全国の精鋭に伍して力走り、全員完走しました。  
レース後にスポニチ、山中湖村長名の「完走証」を手に入れました。

### ○つどい

#### 創立61周年「あすなる祭」

令和5年9月2日（土）（於 本部ビル）

あすなる会員、賛助会員158名の参加を得て実施しました。

当日のおもな来賓として

厚生労働省 人材開発統括官付参事官 谷口 正範 様 メッセージ

(一社)日本勤労青少年団体協議会 会長 高久保 豊 様

アトラクションとして、寺澤ひろみさんによるハーモニカ演奏を開催しました。

## 第57回「祝 新年若者のつどい」

令和6年1月13日（土）（於 本部ビル）

あすなろ会員、賛助会員179名の参加を得て実施しました。

当日のおもな来賓として

厚生労働省 人材開発統括官付参事官 谷口 正範 様 メッセージ

（一社）日本勤労青少年団体協議会 会長 高久保 豊 様

アトラクションとして、D・Sカルテットによるヴァイオリンとチェロの弦楽四重奏を開催しました。

## ○奨学金支給制度

現在奨学生は2名です。令和5年度奨学金収支は、貸付金（0名）、返済金（2名）480,000円、貸付金残高は260,000円です。

## ○図 書 館

本部事務局の図書室を常時開放し読書の便を与え、貸出しました。

## ○会誌・会報

会 報 「令和4年度賛助会費ご納入者芳名ならびに活動報告」を令和5年6月27日に1,200部発行しました。

会 誌 第56号 掲載記事に乏しく発行しませんでした。

## ○賛助会員を対象にした研究会

### 第19回合同時局講演会

参加者が多人数となるため、感染予防のため開催を見合わせました。

### 第89回中小企業経営環境研究会

令和5年11月8日（水）～9日（木）（於 熱海後楽園ホテル）参加者212名  
「日本の政治・経済 今後の展望」

ジャーナリスト、元朝日新聞社特別編集委員 星<sup>ほし</sup> 浩<sup>ひろし</sup> 先生

「話し方と聞く力を磨いてコミュニケーションスキルアップ」

元日本テレビアナウンサー・ボイスデザイナー 魚住<sup>うおずみ</sup> りえ 先生

## ○協力事業

厚生労働省人材開発（若年者・キャリア形成支援担当）よりの若者支援として、働くことに対する自立・支援を前向きに検討し協力しました。

（一社）日本勤労青少年団体協議会および（公財）勤労青少年躍進会主催、厚生労働省後援  
「若ものを考えるつどい2023」

令和5年10月8日（日）開催

今年度も「働くってなんだろう」をテーマに全国から作文の募集をおこない、入選

者の発表、ならびにグループディスカッション（一部ズーム）がおこなわれました。  
あすなろ会からは95名が作文応募し、応募総数1,112点の中から7名の方が受賞しました。

#### (一社)日本勤労青少年団体協議会募集

令和6年「勤労青少年の標語」

大賞 『若者の 熱き挑戦 明日変える』

応募総数 1,263点

東京都在住 29歳 男性

## 2) 庶務の概要

### ○理 事 会

#### ●令和5年5月16日（火）

第12回定時理事会を本部ビル会議室にて開催

第1号議案 令和4年度第11期決算関係諸報告書決議の件

第2号議案 令和5年度第12期事業計画案・収支予算案決議の件

第3号議案 第12回定時評議員会開催日時・場所及び目的事項の決定

第4号議案 令和4年度公益目的支出計画実施報告書承認の件

本件は、原案のとおり承認可決のうえ決議されました。

#### ●令和5年10月19日（木）

定例理事会を開催

第1号議案 令和5年9月期収支状況承認の件

本件は、原案のとおり承認可決のうえ決議されました。

### ○評 議 員 会

#### ●令和5年5月30日（火）

第12回定時評議員会を本部ビル会議室にて開催

第1号議案 令和4年度第11期決算関係諸報告書承認の件

第2号議案 令和5年度第12期事業計画案・収支予算案承認の件

第3号議案 令和4年度公益目的支出計画実施報告書報告の件

本件は、原案のとおり承認可決のうえ決議されました。

### ○内 閣 府

#### ●令和5年6月9日（金）

令和4年度「公益目的支出計画実施報告書」を申請、承認されました。

# 収支計算書

令和5年4月1日から

令和6年3月31日まで

## (1) 収入の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	増 減	備考
大 科 目	中 科 目				
財 産 収 入	基本財産受取利息	1,000	532	△468	
会 費 収 入	賛 助 会 費	7,500,000	8,400,000	900,000	
寄 付 収 入	特 別 寄 付	100,000	180,000	80,000	
事 業 収 入	茶 道 教 室	120,000	166,000	46,000	
	い け 花 教 室	0	0	0	
	ペ ン 習 字 教 室	50,000	91,500	41,500	
	英 会 話 教 室	50,000	54,000	4,000	
	着 物 着 付 教 室	0	0	0	
	新 社 会 人 支 援 教 室	0	0	0	
	新 教 室	10,000	0	△10,000	
	つ ど い	0	0	0	
	研 究 会	3,750,000	8,034,540	4,284,540	
	ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン	30,000	28,000	△2,000	
	図 書 費	0	0	0	
	会 誌 ・ 会 報	0	0	0	
	小 計	4,010,000	8,374,040	4,364,040	
雑 収 入	運用財産受取利息	2,000	1,495	△505	
	雑 収 入	130,000	148,821	18,821	(注1)
	小 計	132,000	150,316	18,316	
当 期 収 入 合 計	(A)	11,743,000	17,104,888	5,361,888	
前 期 繰 越 収 支 差 額		11,046,847	11,046,847	0	
収 入 合 計	(B)	22,790,000	28,151,735	5,361,735	

(注) 1. 店舗にある「活動費」残高全額を回収し雑収入に計上しました。

## (2) 支出の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	増 減	備考
大 科 目	中 科 目				
事 業 費	茶 道 教 室	460,000	607,839	147,839	
	い け 花 教 室	0	0	0	
	書道ペン習字教室	420,000	574,086	154,086	
	英 会 話 教 室	630,000	624,000	△6,000	
	着 物 着 付 教 室	0	0	0	
	新社会人支援研修	0	0	0	
	新 教 室	140,000	0	△140,000	
	つ ど い	3,000,000	3,304,281	304,281	
	研 究 会	4,500,000	10,186,010	5,686,010	
	スポーツ・レクリエーション	300,000	321,689	21,689	
	図 書 費	30,000	23,685	△6,315	
	会 誌 ・ 会 報	300,000	343,660	43,660	
	活 動 費	930,000	926,250	△3,750	
	什 器 備 品 費	20,000	23,370	3,370	
	事 業 通 信 費	150,000	258,819	108,819	
	事 業 諸 雑 費	50,000	0	△50,000	
	小 計	10,930,000	17,193,689	6,263,689	
管 理 費	会 議 費	130,000	123,120	△6,880	
	福 利 厚 生 費	35,000	24,956	△10,044	
	印 刷 費	80,000	0	△80,000	
	事 務 通 信 費	130,000	136,013	6,013	
	負 担 金	101,000	100,820	△180	
	交 通 費	300,000	243,649	△56,351	
	光 熱 水 費	130,000	120,000	△10,000	
	消 耗 品 費	30,000	21,542	△8,458	
	消耗什器備品費	20,000	6,430	△13,570	
	諸 謝 金	280,000	278,561	△1,439	
	事 務 用 品 費	10,000	7,242	△2,758	
	新 聞 図 書 費	60,000	64,200	4,200	
	人 件 費	750,000	739,512	△10,488	(注1)
	什 器 償 却 費	0	0	0	
	賛助会員表彰費	80,000	54,120	△25,880	
	管 理 諸 雑 費	80,000	61,441	△18,559	
	租 税 公 課	120,000	120,000	0	
小 計	2,336,000	2,101,606	△234,394		
当期支出合計	(C)	13,266,000	19,295,295	6,029,295	
当期収支差額	(A) - (C)	△1,523,000	△2,190,407	△587,407	
次期繰越収支差額	(B) - (C)	9,524,000	8,856,440	△587,560	

(注) 1. 大東京信用組合がご負担の役職員の給与について、その一部を当会が負担しております。

※奨学貸付金の当期収支は、貸付金0円、返済金480,000円、期末残高は260,000円です。

# 貸借対照表

令和6年3月31日現在

## I 資産の部

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
1 流動資産			
現 金	261	670	△ 409
普通預金	8,485,277	8,195,275	290,002
流動資産合計	<b>8,485,538</b>	<b>8,195,945</b>	<b>289,593</b>
2 固定資産			
(1) 基本財産			
差入保証金	40,648,916	40,648,916	0
定期預金	31,300,000	31,300,000	0
基本財産合計	71,948,916	71,948,916	0
(2) 特定資産			
創立記念事業引当預金	0	2,000,000	△2,000,000
特定資産合計	0	2,000,000	△2,000,000
3 その他固定資産			
器具備品	2	2	0
電話加入権	50,900	50,900	0
出 資 金	60,000	60,000	0
奨学貸付金	260,000	740,000	△480,000
その他固定資産合計	370,902	850,902	△480,000
固定資産合計	<b>72,319,818</b>	<b>74,799,818</b>	<b>△2,480,000</b>
資 産 合 計	<b>80,805,356</b>	<b>82,995,763</b>	<b>△2,190,407</b>

## II 負債の部

(単位：円)

1 固定負債			
負 債 合 計	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

## III 正味財産の部

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
指定正味財産			
基 本 金	71,948,916	71,948,916	0
一般正味財産			
前期繰越収支差額	11,046,847	8,173,777	2,873,070
当期収支差額	△2,190,407	2,873,070	3,407,003
次期繰越収支差額	8,856,440	11,046,847	△2,190,407
正 味 財 産 合 計	<b>80,805,356</b>	<b>82,995,763</b>	<b>△2,190,407</b>
負債および正味財産合計	<b>80,805,356</b>	<b>82,995,763</b>	<b>△2,190,407</b>

※(2)の特定資産は創立60周年記念事業に充てるための定期預金です。

## 重要な会計方針及び注記

1. 有価証券（出資金）の評価基準と評価方法 取得原価法によります。

2. 固定資産の減価償却の方法 定額法によります。

### 3. 資金の範囲

現金預金の期末残高は次の通りであります。（単位：円）

科目	当期末残高	前期末残高
現金	261	670
預金	8,485,277	8,195,275
計	8,485,538	8,195,945

4. 基本財産の期末残高は次の通りであります。（単位：円）

科目	当期末残高	前期末残高
差入保証金	40,648,916	40,648,916
定期預金	31,300,000	31,300,000
計	71,948,916	71,948,916

5. 次期繰越収支差額の内容は次の通りであります。（単位：円）

科目	当期末残高	前期末残高
現金預金	8,485,538	8,195,945
記念事業預金	0	2,000,000
奨学貸付金	260,000	740,000
出資金他	110,902	110,902
計	8,856,440	11,046,847

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次の通りであります。

（単位：円）

科目	取得価格	減価償却累計額	うち当期償却額	当期末残高
ピアノ	525,000	524,999	0	1
キャビネ 6 台	165,060	165,059	0	1
計	690,060	690,058	0	2



# 財 産 目 録

令和6年3月31日現在

## I 資産の部

(単位：円)

科 目	金 額		
1 流動資産			
現金 手元有高 事務局	261		
預金 普通預金 大信本店営業部	8,386,448		
大信押上支店	98,829		
流 動 資 産 合 計		8,485,538	8,485,538
2 固定資産			
(1) 基本財産			
差入保証金 大東京信用組合	40,648,916		
定期預金 大信本店営業部	7,300,000		
〃 大信押上支店	24,000,000		
基 本 財 産 合 計		71,948,916	
(2) 特定資産			
創立記念事業引当資産			
定期預金 大信本店営業部	0		
特 定 資 産 合 計		0	
(3) その他固定資産			
器具備品 ピアノ・キャビネ	2		
電話加入権	50,900		
出 資 金 大東京信用組合	60,000		
奨学貸付金 奨学生2名	260,000		
そ の 他 固 定 資 産 合 計		370,902	
固 定 資 産 合 計			72,319,818
資 産 合 計			80,805,356

## II 負債の部

(単位：円)

1 固定負債			
負 債 合 計	0	0	0

## III 正味財産の部

(単位：円)

差 引 正 味 財 産 合 計			80,805,356
-----------------	--	--	------------

# 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
経常収入計	17,104,888	7,312,918	9,791,970
経常費用			
①事業費	17,193,689	2,524,391	14,669,298
②管理費	2,101,606	1,915,457	186,149
経常費用計	19,295,295	4,439,848	14,855,447
2. 経常外増減の部			
経常外費用	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,190,407	2,873,070	△791,959
一般正味財産期首残高	11,046,847	8,173,777	2,873,070
一般正味財産期末残高	8,856,440	11,046,847	△ 2,190,407
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	71,948,916	71,948,916	0
指定正味財産期末残高	71,948,916	71,948,916	0
III 正味財産期末残高	80,805,356	82,995,763	△ 2,190,407

# 正味財産減少理由書

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

期 首 財 産      82,995,763円  
期 末 財 産      80,805,356円  
差 引 減 少 額    △2,190,407円

財産減少理由は、

1. 本年度は新型コロナウイルス禍の感染が収束に向かい、事業先の活動も活発となり賛助会費等収入は大幅に増加しました。また 支出も増加した結果、期末正味財産は前年度比約2,6%の減少となりました。

以上のとおり報告いたします。

令和6年4月16日

一般財団法人 あすなろ会  
代表理事 柳 沢 祥 二  
会 長

# 監査報告書

一般財団法人 あすなる会

代表理事  
会 長 柳 沢 祥 二 殿

監 事 片 渕 博 義 ㊞

監 事 井 村 誠 ㊞

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその付属明細書監査結果

計算書類及びその付属明細書は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

### (3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は法令又は定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。